

平成26年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年3月6日 東

上場会社名 エイケン工業株式会社 上場取引所
 コード番号 7265 URL http://www.eiken-kk.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 早馬 義光
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役工場長 兼総務部長 (氏名) 池田 文明 (TEL) 0537-86-3105
 四半期報告書提出予定日 平成26年3月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年10月期第1四半期の業績(平成25年11月1日～平成26年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年10月期第1四半期	1,234	14.3	51	33.7	56	23.2	36	24.7
25年10月期第1四半期	1,080	△6.6	38	△27.4	46	△15.0	28	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
26年10月期第1四半期	7.18		—					
25年10月期第1四半期	5.59		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年10月期第1四半期	4,820	3,611	74.9
25年10月期	4,876	3,631	74.5

(参考) 自己資本 26年10月期第1四半期 3,611百万円 25年10月期 3,631百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年10月期	—	0.00	—	12.00	12.00
26年10月期	—	—	—	—	—
26年10月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年10月期の業績予想(平成25年11月1日～平成26年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,429	9.7	136	76.1	144	61.9	91	35.3	18.14
通期	4,820	1.8	261	8.8	281	4.4	177	△6.1	35.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年10月期 1 Q	7,200,000株	25年10月期	7,200,000株
② 期末自己株式数	26年10月期 1 Q	2,181,726株	25年10月期	2,181,726株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年10月期 1 Q	5,018,274株	25年10月期 1 Q	5,171,771株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

●この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済・金融政策等による円高の解消及び株価の上昇等により、企業収益の改善が進み、景気回復に明るい兆しがみられましたが、新興国の経済の停滞等、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

こうした状況のなかで、当社が属しております市販メーカーにおいては、カーディーラーでの交換頻度が増えていること及びガソリンスタンドのセルフ化の影響を受けて厳しい状況になっているなかで、海外からの安価な商品の流入等、当社を取り巻く経営環境は一段と厳しさを増しました。

このような環境の中にあつて、当社は、売上高は12億34百万円（前年同四半期比14.3%増）、売上高が増加したことが要因となり、営業利益は51百万円（前年同四半期比33.7%増）、経常利益は56百万円（前年同四半期比23.2%増）となりました。経常利益が増加したことが要因となり、四半期純利益は36百万円（前年同四半期比24.7%増）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次の通りであります。

(フィルター部門)

売上高に関しては、国内売上は同業者向け及びカーショップ向けは減少しましたが、商社向けが増加しました。輸出売上はヨーロッパ及び東南アジア向けが増加しました。営業利益に関しては、売上高が増加したことが要因となり増加しました。

その結果、売上高は11億68百万円（前年同四半期比15.2%増）、営業利益は99百万円（前年同四半期比19.3%増）となりました。

(燃焼機器部門)

売上高に関しては、バーナ部品の売上高が増加しました。営業利益に関しては、売上高は微増しましたが、利益率の高い商品の売上高が減少したことが要因となり減少しました。

その結果、売上高は66百万円（前年同四半期比0.8%増）、営業利益は5百万円（前年同四半期比38.8%減）となりました。

(その他)

車載用加湿器、ティッシュケース及び縦型灰皿等の販売をしております。

その結果、売上高は19万円（前年同四半期比41.6%減）、営業損失は97万円（前年同四半期は営業損失1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、26億41百万円（前事業年度末比1.7%減）となりました。主な要因は、原材料及び貯蔵品が20百万円増加したものの、現金及び預金が33百万円、受取手形及び売掛金が36百万円減少したことによるものです。

固定資産は、21億78百万円（前事業年度末比0.5%減）となりました。主な要因は、建物が13百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は、48億20百万円（前事業年度末比1.2%減）となりました。

(負債)

流動負債は、10億12百万円（前事業年度末比3.3%減）となりました。主な要因は、未払法人税等が36百万円減少したことによるものです。

固定負債は、1億95百万円（前事業年度末比0.3%減）となりました。主な要因は、退職給付引当金が67百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は、12億8百万円（前事業年度末比2.9%減）となりました。

(純資産)

純資産合計は、36億11百万円（前事業年度末比0.6%減）となりました。主な要因は、利益剰余金が24百万円減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

該当事項はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年10月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	765,725	732,044
受取手形及び売掛金	1,141,592	1,104,659
電子記録債権	40,573	48,837
商品及び製品	497,863	496,925
仕掛品	34,848	32,095
原材料及び貯蔵品	148,625	168,876
その他	58,598	59,085
貸倒引当金	△1,204	△1,161
流動資産合計	2,686,622	2,641,363
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	842,307	828,818
その他(純額)	945,613	943,287
有形固定資産合計	1,787,920	1,772,105
無形固定資産		
	5,180	4,553
投資その他の資産		
その他	397,389	402,970
貸倒引当金	△778	△902
投資その他の資産合計	396,611	402,068
固定資産合計	2,189,713	2,178,728
資産合計	4,876,335	4,820,091
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	235,659	248,491
短期借入金	530,000	530,000
未払法人税等	80,015	43,200
賞与引当金	24,907	74,721
その他	177,330	116,562
流動負債合計	1,047,912	1,012,975
固定負債		
退職給付引当金	119,297	118,618
役員退職慰労引当金	4,386	4,386
資産除去債務	10,173	10,173
その他	62,567	62,582
固定負債合計	196,425	195,761
負債合計	1,244,338	1,208,736

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年10月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	601,800	601,800
資本剰余金	389,764	389,764
利益剰余金	3,569,331	3,545,184
自己株式	△962,504	△962,504
株主資本合計	3,598,392	3,574,245
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	33,604	37,109
評価・換算差額等合計	33,604	37,109
純資産合計	3,631,996	3,611,354
負債純資産合計	4,876,335	4,820,091

(2) 【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年1月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年1月31日)
売上高	1,080,443	1,234,553
売上原価	915,098	1,045,407
売上総利益	165,344	189,146
販売費及び一般管理費	126,509	137,238
営業利益	38,834	51,907
営業外収益		
受取利息	282	62
受取配当金	2,631	2,461
投資有価証券評価益	1,784	—
受取賃貸料	3,155	3,705
その他	1,899	720
営業外収益合計	9,752	6,949
営業外費用		
支払利息	1,090	820
売上割引	1,119	1,092
その他	251	131
営業外費用合計	2,461	2,044
経常利益	46,124	56,812
特別利益		
固定資産売却益	273	29
投資有価証券売却益	636	—
補助金収入	250	788
保険解約返戻金	—	3,515
特別利益合計	1,159	4,333
特別損失		
固定資産除却損	146	50
特別損失合計	146	50
税引前四半期純利益	47,137	61,095
法人税、住民税及び事業税	40,680	41,877
法人税等調整額	△22,480	△16,853
法人税等合計	18,199	25,023
四半期純利益	28,937	36,071

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期累計期間(自平成25年11月1日至平成26年1月31日)
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自平成25年11月1日至平成26年1月31日)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第1四半期累計期間(自平成25年11月1日至平成26年1月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 損益計算書 計上額 (注3)
	フィルター 部門	燃焼機器 部門	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	1,168,212	66,142	1,234,354	198	1,234,553	—	1,234,553
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,168,212	66,142	1,234,354	198	1,234,553	—	1,234,553
セグメント利益 又は損失(△)	99,178	5,051	104,230	△ 976	103,253	△51,346	51,907

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に総務部等管理部門の一般管理費及び研究開発費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

以上